当院で急性呼吸器感染症と診断された方の研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026 年 11 月 5 日 ～ 2029 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

当院の急性呼吸器感染症における臨床像の研究

〔研究目的〕

本研究は、インフルエンザや新型コロナウイルスなどのウイルスや、細菌による急性呼吸器感染症の患者さんの診療記録を詳しく調べ、どのような症状や経過をたどったか、どのような治療が行われ、どのような結果になったかを明らかにすることを目的としています。また、流行状況やウイルスの変化、ワクチン接種歴の違いによって、患者さんの症状や重症化のしやすさがどのように変わったのかも検討します。こうした情報を整理することで、急性呼吸器感染症の診療に役立つ知見を得ることを目指します。

〔研究意義〕

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとする急性呼吸器感染症の経過は、流行株や流行時期などで変化します。当院では多くの患者さんを診療しておりますが、その臨床経過をまとまった形で整理した報告は十分に行われていませんでした。本研究では、過去の診療記録を見直すことで、当院における急性呼吸器感染症の患者さんの特徴や、重症化しやすい背景などをより正確に理解することができます。この結果は、今後の診療の質を高め、重症化の予防や、適切な治療開始の判断に役立つほか、新たな呼吸器感染症が発生した際の対応にも生かすことができます。患者さんの診療の改善につながる重要な研究です。

〔対象・研究方法〕

2010 年1月1日から 2026 年 3 月 31 日までの診療で急性呼吸器感染症の診断をされた患者さんを対象に、カルテに記録されている微生物検査、血液検査や尿検査結果、画像検査などのデータや受けた医療処置および治療薬の情報などを収集して行う研究です。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの診療情報・データは、分析する前に氏名などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、帝京大学医学部内科学講座感染化療研究室において厳重に保管します。研究終了後は、「研究終了後資料保管申請書」に記録リストを添付し、記録類一式とともに倫理委員会事務局に提出し、保管した情報は手順書に従い、臨床研究センター(TARC)にて 10 年保管の後に廃棄します。情報の使用を拒否される方のものは速やかに削除を行います。ただし、研究成果の公表後は、情報の使用を拒否できないことがあります。

〔その他〕

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。また、あなたへの謝金はありません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:若林義賢(准教授:内科学講座)
研究分担者: 北沢貴利(教授:内科学講座)
所属: 帝京大学医学部内科学講座
住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表)
Email: wakabayashi-tky@med.teikyo-u.ac.jp